

令和4年5月20日



横浜市立若葉台小学校

令和4年度学校説明会

校長 池田 千穂

子どもを真ん中において、保護者の方、地域、学校がパートナーとして子どもを育ていけるように、「安全、安心」な学校生活を基盤に「つながり」を大切に教育活動に取り組んでいきます。そして子ども達が自信をもって主体的に行動し、安心して生活できる学校を目指します

自分も友だちも大好きなあたたかい子

自分を大切に、他者を思いやり、地域を愛する心を育てます。



先日、たてわり活動が始まり、6年生が一生懸命に会を進めていました。年上の子は年下の子と関わる時、相手の気持ちを汲もうと努力します。そして、それは「思いやり」の心を育て、自尊感情も高めます。この2年コロナ禍で、できることを工夫し、内容を見直して交流活動や行事を行ってきました。この経験を活かし、新学習指導要領に即した内容で活動や行事を行っていきます。

「自分は大切にしてもらっている」と子ども自身が実感することは、自分を大切に作る心を育みます。私たち教職員は子ども達一人一人に寄り添った対応を心がけます。そして温かい人間関係が、クラスや学年の枠を超えて築かれるように努めてまいります。その関わりのなかで、子ども達は自己肯定感や自己有用感を高めていくことができると思います。

自分の心と同様に「自分の体」も大切にしてほしいです。感染予防のために手洗いは繰り返し指導していきます。熱中症リスクを鑑みてマスクの着脱と水分補給を適宜行います。体育授業の充実を図り、休み時間に運動への関心を高めていきます。今年度は水泳学習も再開。オアフスタッフさんにもご協力いただき、ゆっくりと水慣れから行っていきます。また5月の歯磨き検査はAが46%と例年以下でした。生活習慣の見直しもするような取組も行います。ご家庭にも引き続き朝の検温等の健康観察を感染拡大防止のためにお願ひします。

若葉台のアドバンテージは「地域力」です。地域の協力体制のもと、各団体施設、異校種、地域と連携して学ぶ機会がたくさんあります。体験的な学びは子ども達の意欲を十分に高めるものだと思います。また様々な校種、年齢の方との交流はいろいろな人達がいることの当たり前を学びます。それは人権感覚を育てていきます。今年度からは感染対策を十分に講じ若葉台の特色を生かした学習を展開していきます。



自分から進んで学び続ける子

「わかる・できる」を実感し、意欲的な学びの芽を育てます。



若葉台小学校の子ども達は落ち着いた態度で授業に臨んでいます。学習スタンダードを教職員が共通理解して全学年で指導しています。学習に向かう態度は養われているので、さらに自分から学び続ける意欲を育てたいと考えています。そのために一人一人の「わかる・できる」学びを大切にします。その経験や実感が意欲的な学びの芽になると思います。また年 1 回、全教職員が授業を公開して見合い、「わかる・できる子どもの姿」やそ

の手立てについてお互いに研鑽しています。

GIGA スクール構想を受けてタブレットを用いた新しい学習の形が実践されてきました。発達段階に合わせた学習での効果的な活用を目指していきます。またアプリの活用で個に合う学習や互いの意見交換など、協働的な学習にも活用していきます。

小学校も教科担任制を推進することが文科省から出されました。本校も教科分担制、教科担任制など学習形態の工夫を全学年で実施しています。私たち教師も指導教科を絞ることで、教科の専門性を生かし、教材研究や授業改善の時間が捻出され、授業力の向上につながると考えています。



チーム若葉台小学校

子ども達が安心して学校生活を送れるように全職員で努めます。

「若小の約束」を定期的に見直して、実態の振り返りを行いながら繰り返し指導しています。子ども達が安心して生活できるように全職員で共通理解し一貫した指導を行います。

教科担任制や特別支援教室など様々な学習形態での授業は学力の定着や向上だけが目的ではありません。どの学年も担任以外の教師が指導に入ることで多くの職員目で子どもを見守り支援できます。関わる職員の視点で子どもを見取り、情報を共有し、一人一人の子どもの理解を深めます。いじめ等の問題の早期発見、未然防止にも多くの大人の目が必要であると考えています。いじめ等の問題は会議の中で位置付けて児童支援専任を中心に教職員で共有し、解決に向けて、対応は迅速に組織で行います。スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー、外部関係諸機関とも連携して対応を協議することも積極的に行っています。また計画的にアンケートや面談、アセスメントを行い子ども達の実態把握に努めます。情報モラル教室、交通安全教室など学年に応じて他機関と連携して指導をしています。問題が起きた時に実態に合わせて行うこともありました。「チーム若葉台小」として、引き続き子ども達が安心して学校生活を送れるように全職員で努めてまいります。